

# 〔神戸山手大学連携事業〕 特別公開講座「六甲山の治山の歴史を訪ねる」の開催

## 神戸県民センター六甲治山事務所

### 1. はじめに

六甲山の豊かな緑は、明治時代に始まった植林によってよみがえり、神戸の美しい町並みは、土砂災害を教訓に整備された治山・砂防施設によって守られてきました。再度山には今も植林のために築かれた明治の石積み遺構が森林を守っており、再度谷には数多くの施設が災害防止に効果を発揮しています。

このたび、県政150周年事業の一環として、神戸山手大学と連携し、六甲山で実施されたこれらの治山の歴史を紹介するとともに、再度山や再度谷のこれらの遺構や治山・砂防施設を歩いて巡る特別公開講座「六甲山の治山の歴史を訪ねる」を開催しました。

### 2. 開催概要

〔日時〕平成30年10月27日(土)  
〔場所〕神戸山手大学、再度公園 ほか



特別公開講座案内チラシ

(参加人数) 42名

(1) 講義 (神戸山手大学)

①「六甲山における治山の歴史」

六甲治山事務所山田所長より、再度山の植林、六甲山系の主な災害、治山と砂防、これからの治山対策など荒廃した六甲山の植林の歴史や治山事業等による復旧の軌跡等の講義を行いました。

②「観光資源として見た六甲山の治山」

神戸山手大学小槻准教授より、観光資源の分類、インフラツーリズムの試み、六甲山の治山を観光資源化するための方策等治山施設の観光の可能性について講義を行っていただきました。



「六甲山における治山の歴史」講義の様子



「観光資源として見た六甲山の治山」講義の様子

(2) フィールドワーク (神戸山手大学―再度谷―再度公園)

講義後、山手大学から再度谷を通って再度公園まで、かつて大龍寺の参詣道として栄えた大師道とよばれる登山道を3班に分かれて歩きました。

この再度谷は昭和13年阪神大水害、昭和42豪雨災害では多数土砂崩れが発生し、甚大な被害が発生しました。そのため、再度谷の本流には、昭和14年から砂防ダムが複数設置され、支流や山腹斜面には兵庫県が治山ダムや山腹工を多数施行してきました。



S46 諏訪山第二砂防ダム



S43 治山事業山腹工

また、ここは神戸市有林であることから、神戸市もハイカーや登山者の保護のため、治山事業として防災施設を設置しています。これらの防災施設を解説するとともに、明治時代に築かれた植林のための石積み、社寺林として守られてきた照葉樹林、再度山のはげ山から現在の森林に復旧するまでの状況などの解説を行いました。



明治時代に植栽された松の切り株の確認



明治時代の石積みを解説



オプションツアー実施状況



フィールドワーク実施状況

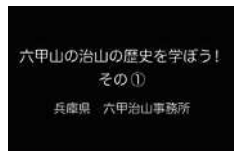
なお、登山道が狭く、一ヶ所に全員が集まるこ  
とが困難だったため、インカムを配布して解説が  
全員に聞こえるよう配慮しました。  
(3) オプションツアー（再度公園―蛇ヶ谷―市ヶ原  
―布引貯水池―新神戸駅）  
希望者に対し、再度公園から新神戸駅まで、森  
林インストラクター兵庫の解説による自然観察と  
治山施設等のガイドウォークを実施しました。参  
加者は樹木や植物などに関して知らなかった知識  
が吸収できたと満足そうでした。

この講座は当初40名の定員を予定してしま  
したが、早期に満員となり、この企画に対して興味を  
持つての方が予想以上に多いと感じました。参加  
者は比較的年配の方が多かったですが、中には今  
年の7月豪雨で体育館裏が崩れた鈴蘭台高校の新  
聞部の生徒が災害に対する特集を組む取材のため  
に参加してくださいました。

#### 4. まとめ

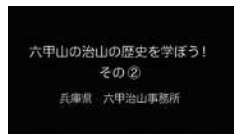
### 六甲山の治山の歴史を学ぼう！（その1）

市街地を土砂災害から守る治山施設や砂防ダム



### 六甲山の治山の歴史を学ぼう！（その2）

再度山の植林や明治時代の石積み、はげ山だった六甲山の緑について



動画とQRコード（読み込めます！）

#### 3. 動画配信

ラジオ関西の協力を得て、再度谷の治山施設等  
を紹介する動画「六甲山の治山の歴史を学ば  
う！」を作成しました。レポーターが現地で山田  
所長に質問し、回答する流れになっています。  
ユーチューブに貼り付けていますので是非ご覧下  
さい。兵庫県ホームページからも見る事ができ  
ます。



再度山のよみがえった豊かな森林

当日行ったアンケート結果も好評で、55%の方  
から「とてもよかった」25%の方から「よかつた」  
との回答をいただきました。その他「貴重な  
経験になった」、「治山に興味を持つことができ  
た」、「2回目、3回目と実施されることを期待し  
ている」などの意見もいただきました。  
六甲山系には、現在約2,200基余の治山・  
砂防ダムが設置されており、今回の7月豪雨災害  
でも被害は軽微であったことは、過去の治山  
施設・山腹工の効果が発揮されている結果です。  
しかし、その施設の多くが森林の中でひっそり  
とたたずんでおり、普通に歩いているとなかなか  
気づかないものです。より多くの方に治山事業の  
ことを知ってもらうとともに、県民の土砂災害に  
関する知識や防災意識の向上に寄与できるよう、  
今後も六甲山の災害展とあわせ毎年実施する予定  
です。